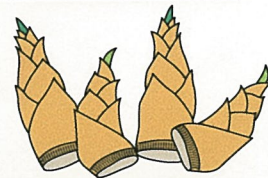


春間近！2010年になって初めてのパドタマです。もう梅が咲いていますね。次は桜、そして楽しみにしていたカヌーシーズンの到来！でもその前に継続お手続きをお忘れなく。エディー便りも満載号です。カレンダー片手に暖かくしてお読み下さいね。(洋)

1. クラブ便りその1：会員手続きの案内
2. クラブ便りその2：今までの活動報告
3. クラブ便りその3：今後の活動予定
4. エディ便り：竹森会長のご挨拶ほか



クラブ便りその1：会員継続手続きの御案内

今年も例年通り、4月以降1年間のクラブ員登録の案内を以下のように行います。保険の適用期間が4月1日から1年間となっていることから4月の最初の活動から保険を適用し、安心して活動できるようにするため出来るだけ3月中に継続手続きを完了したいと思います。

クラブでは今年も、どなたでも参加できる遠征ツーリングをはじめ、多摩川上流部などでの日帰り講習会、プールでの練習会、芋煮会など楽しい企画を計画しています。みんなで自然の中に入っていき、カヌーライフを大いに楽しみませんか？そのためにはみなさん是非継続をお願いします！

継続手続きをする方は、同封の振込用紙を利用し、口座番号・加入者名は次の通り記入して下さい。

払込取扱票	
口座番号	金額
0016011	29849
加入者名	料金
多摩市カヌークラブ	
通	特殊取扱

また万が一に備え、規約にて、クラブ員は「スポーツ保険」加入が義務付けられています。総務部で「クラブ会費+保険料」の払込みが確認できた方から、前記保険の申し込みを行います。保険の対象はクラブ活動(※)の事故に限ります。(※仲間

同士の独自の活動でも、事前に役員 info@paddlertama.com にご連絡頂いた場合は、クラブ活動扱いと致します。必ず事前に連絡してください。) それ以外は保険の対象になりませんのでご注意ください。保険期間は保険会社へ掛金を振込んだ日の翌日から、翌年3月31日まで。手続きには2週間前後の日数が必要ですので早めの手続きをお願いします。

クラブ年会費、及びスポーツ安全保険料は昨年と同様で下記の通りです。手続きは、会員種類に応じた会費と保険料の合計を振込んで下さい。家族会員を同時に申し込む方は会員の合計金額を振込んでいただくと同時に、振込用紙の通信欄に家族会員の氏名も記入して下さい。また保険会社への手続き書類に記入が必要ですので、**正会員を含む全員の生年月日及び年令を忘れずに記入して下さい。**

会員の種類	クラブ年会費	スポーツ保険料	合計
正会員	4,000円	1,500円	5,500円
家族会員(高校生以上)	2,000円	1,500円	3,500円
家族会員(中学生以下)	2,000円	500円	2,500円
パドタマ会員【新設】	3,000円	/	3,000円

以上勝手ではありますが事務整理の都合上、3月31日までに振込手続きをお願いいたします。不明な点、または何かご連絡事項がありましたら総務部・水野までご連絡下さい。

都合で期日までに振込が出来ない方は、その旨を必ず事前に連絡して下さい。

クラブ便りその2：今までの活動報告

1.クリスマスツーリング：2009/12/20(日)



参加は、ツーリング班が遠藤夫妻と永江、そして河原散策班が安西、犬塚、戸川、徳村、柳田の各氏と来春入会予定の和田さん、また定点班が水野氏の計10名。ツーリングゴール地点の河原では水野くんが仕込んでくれた、温かいけんちんうどん&焼き芋を皆でありがたーく頂き、その後メインのケーキ(今年はチョコ味☆)を10等分して「メリークリスマス!」。穏やかな日差しに恵まれ、吉野の河原で1時間程皆で過ごしました。(遠藤洋)

◆河原班：犬塚さんから

発電所から沢井まで歩きました。川下り班のコース取りやすポットでの動きを橋の上や河原から眺めて、みなさん自分が漕ぐ時を想像して盛り上がっていました。またこの日はWSN主催のクリスマスカップも開催されていて、三つ岩の所で全員でレース観戦もしました。

◆来春入会・和田恵美子さんからのコメント

春に入会予定の和田です。川辺散策は下ってる方々を見ながらわかりやすくご説明いただき、イメージトレーニングになりました！料理やケーキもさることながら、楽しい方々でカヤックをやらなくても楽しい！(笑)…そんな初参加でした。ありがとうございました。これから宜しくお願いします！

2.忘年会:2009/12/12(土)& 新年会:2010/1/16(土)



忘年会(写真)は、瞬彩永山店で石井、犬塚、遠藤(哲)、大池、芝田(仁)、竹森、戸川、水野、山口、吉田、和田が集いました。

新年会の方は、永山の新撰組で、出席は石井、大池、戸川、和田の4氏に芝田(仁)の5名でした。カヌーの話から、仕事、子育て、芸術文化、政治と話はず、ボトルが空になっても話は盛り上がっていました。急用で参加できなかった方々の分まで語り合いました。仕事帰りの同僚との「一杯」を思い出しました。(芝田仁)

クラブ便りその3：今後の活動予定

この号では2010年度の予定をツーリングを中心にご紹介いたします。「自然と共に」今年も漕ぎましょう！この他にも、近隣の川で定点講習を随時プランする予定です。なお、講習会等の日程は別途送付される「総会議案書」をご覧ください。

4/11(日) 2010年度クラブ定期総会&プール開き



西永山複合施設の調理室にて行います。総会は10時～12時。昨年度の活動・決算報告及び新年度の体制、活動方針、予算案等ディスカッションと議決を行います。みなさん是非都合をつけてご出席下さい。事前に議案書を郵送します。やむを得ず出席できない方は議案書に同封する委任状の提出をお願いします。(担当：総務部) 総会終了後12時～15時は、引き続き同室でプール開き(懇親会)。参加費不要(ご家族・友人は¥500)、差し入れ大歓迎です！(担当：普及部)

4月(日程未定) 普通救命講習

シーズンが始まる前に、心肺蘇生法、AEDの操作、止血法等を多摩消防署にお願いして習得したいと思います。水を相手のパドラーには必須科目です。詳細は後日お知らせします。(総務部)

4/18(日) 流水講習(相模川)

春らしくなっていよいよカヌーシーズンが始まります。今回は遊水会(戸川さん命名)として、カヌーと川原でバーベキューをのんびりと楽しめようという企画です。シーズン始めということで、静水での動きを確認します。また、こどもまつりの練習をかねてカナディアンの漕ぎ方も練習しましょう。前回アクセスの良かった相模川の小倉橋、上大島キャンプ場周辺で漕ぐ予定です。皆さんふるって参加ください。(強化部)



5/3(月・祝)～5(水・祝)【仮】 こどもまつりカヌー体験教室



GWに多摩センター駅周辺で行われる「こどもまつり」には今年も参加します。当クラブは中央公園の大池で「カヌー体験教室」を行い、お客様にカヌーを楽しんで頂きたいと思っております。皆で楽しみながら頑張りましょう！

なお、より多くの方にご参加頂く為、待ち時間減少の為にも「カナディアンの漕ぎ手」がキーとなります。とにかくマンパワーが必要ですのでご協力をお願いします。例年どおりクラブTシャツも作ります。(編集部)

5/22(土)～23(日) 気田川ツーリング

清流・景観など満足度がとても高い、人気の気田川は外せませんので予定に入れてあります。今年は5月に設定しました。(昨年は9月)。春の気田川を楽しみましょう！当クラブの元会長・太田さんが現在所属されている「静岡カヌークラブ」の方々と合同の予定です。賑やかにいそいそと今年も楽しみです！(対象：初級者～) (普及部)



7/11(日) 流水講習(多摩川・御岳)



夏突入でカヌーには最適な季節の到来です。この時期なら水に入るのも気持ちが良いのでいろいろチャレンジしてみましょう。セーフティスイム、スローロープの扱い、レスキューの流れなどを確認

します。ロール特訓希望の方大歓迎です。

吉野テニスコート定点で行う予定なので、陸上班のみの参加もお待ちしています。(強化部)

8/7(土)～8(日) 青木湖ツーリング



湖は数ある候補の中から「久しぶりに青木湖に行ってみようか！」ということになりました。

長野県大町市にある青木湖は、秋の紅葉ツーリングで一時期は毎年のように訪れていましたが、夏に行くのは初めてですね。湖ですので初心者から参加可能で、ご家族やお友達の参加も受け付けます。夏休みなのでファミリーでもいかがですか？(普及部)

9/4(土)～5(日) 長瀬ツーリング

長瀬は埼玉県の西北部、荒川の中流域に位置する景勝地。国指定の名勝・天然記念物「長瀬岩畳」を中心に観光地としても知られています。

去年は7月でしたが、今年は9月にチャレンジ！例年のコースよりも少し長く下り、ゴール地点に程近いキャンプ場に泊まるプランを考えています。瀬場と瀬が交互にやってくる、変化に富んだ川下り。渓谷と岩畳の風景が今から楽しみです。(普及部)



10/23(土)～24(日)【仮】 ハロウィンin多摩センター カヌー体験教室



今年で3回目の参加になります。内容はGWのこどもまつりと同様。大池でお客車を載せて漕ぎます。

ハロウィンイベントなのでお客様の中にも仮装している方も多いです。特にお子さんの仮装姿はとってもカワイイですね。我々も受付付近にカボチャグッズを飾ったり、帽子やマントを着用する等して、ハロウィンの雰囲気盛り上げながら今年も行いましょう。(編集部)

11/7(日) 芋煮会

例年のように西永山複合施設の調理室で行う予定です。今年は日曜の開催です。(最近、土日交互に開催しています。)(普及部)

11/14(日)【仮】 ()湖 紅葉ツーリング(行き先未定)

基本的には上記日程ですが、後日紅葉前線の予報を見て、10月中旬には日程を最終決定しますので【仮】となっています。1週間ほど前後するかもしれませんが御了承ください。漕いだ後は湖畔で小春日和のデイキャンプを楽しみましょう！ご家族・知人のご参加も可能です。(普及部)



12/19(日) 御岳(多摩川)クリスマスツーリング



漕いだ後は、冬の御岳の河原で、一足早いクリスマスケーキを食べましょう！散策組・定点班ももちろん募集！日ざしに恵まれれば暖かいので、和やかに過ごしましょう。(普及部)

4/18(日)～毎週日曜 プール練習

原則日曜日の13:00～16:00。但し、ツーリングなどクラブ行事と重なる日は基本的に無しです。当番のお願いもさせていただきますのでご協力をお願いします。

なお、プール清掃は6/13(日)・20(日)に行いますのでまた皆様の御協力をお願いします。(総務部)

エディ便りその1：2009年度を振り返って@竹森会長のご挨拶

2009年度は“一緒に川へ行こう！！8時にプール集合”を基本方針に活動してまいりました。“安全で楽しいカヌーを実践するために気軽に川に行きましょう”と毎週声を掛け合って川へ行くことができましたか？？習うより慣れるで、数多く川で遊ぶ事が、カヌーがうまくなること、そして楽しくなることです。そんな思いで活動して参りました。

比較的、川で練習する意識が高かった一年でしたが、川での練習に頻繁に参加できた方はあまり多くありませんでした。多摩川上流部は比較的難易度が高く、もう少し近くて、中流域で練習やツーリングの企画が必要だと、反省の声が出て来ました。家族の会員の方も増えたこと、リタイヤされてセカンドラ

イフをカヌーで楽しみたい方など、カヌーを練習してうまくなるより、楽しむカヌーが求められる様になりました。一年の反省を通して、来年度は川で遊べる企画が盛りだくさんになることを期待します。

年間スケジュールで予定されたイベントには沢山の方に参加頂きました。行事も多くのクラブ員の皆さんにご協力いただきました。

春のプール開きから始まって、夏の市民講習、秋の芋煮会、そして最後にクリスマスツーリングで一年が終わりです。みなさん、存分に楽しんでいただけたでしょうか。事故もなく無事に過ごせたこと、みなさんのご協力で今年度も安全で楽しいカヌーを実践することができました。ありがとうございました。

以上



エディ便りその2：多摩地域におけるカヌーを用いた体験@岩越さんからの投稿文です

NPO 法人野外遊び喜び総合研究所（あばれんぼキャンプ）での活動を開始してから、1年半が経とうとしている。

昨年4月より正職員として本格的に活動開始してから、カヌーを道具として用いた体験教育プログラムの開発と推進に携わってきた。昨シーズンにカヌーを通じて出会えた子どもたちは、のべ約1,000人に至った。府中の街中で「あ、カヌーのセンセイ！」と、子どもや親御さんたちに声をかけられる場面も少なくなく、多摩川中流域のカヌー普及に貢献できている喜びを噛み締めている。これらの企画には、個人的にお願いした多摩市カヌークラブの有志の方たちにもボランティアでお手伝い頂いた。この場を借りて御礼申し上げます。

社会や技術が進歩していくに従い、子どもたちの体験の機会が奪われ、ヒトが家畜化していくという論がある。

携帯電話やゲーム機の使い方には詳しいが、生活に必要な基本的な所作を身に付けていない子どもたちに出会う場面は少なくない。危ないこと、危ないものが排除される傾向にあることも、子どもたちから様々な体験の機会を奪っている。大人の頭で考えられ、実装されていく社会はどんどん人工的なものになり、子どもたち（そして人々）はペット化されていくという論だと理解している。あばれんぼキャンプでは、これらの問題・課題を解決するためのプログラム、組織、ハードを揃え、主催事業、学校や自治体などからの委託事業を展開している。代表の中嶋 信をはじめ、職員やボランティアスタッフが学びながら、子どもたちが多くを得られ、楽しい野外体験のプログラムとは

どういものかを日々議論している。

子どもたちと向き合うとすぐに気が付くが、本来彼らは、虫とり、魚とり、焚火、カヌー遊びが大好きだ。面白い体験、知識を提供してくれる大人も大好きで、実はいまどきの子どもたちも好奇心旺盛だということに気付かされる。人工的な環境における生活で、埋もれそうになった好奇心を上手に掘り起こせる活動を提供したい。どうしたら良いかを考えた結果、子どもたちが気軽に戻ってこれることができる地元の自然への着目を得た。多摩川に着目してプログラム開発を進めてきたところ、総合的な学習の場として非常に適したフィールドであることに気が付いた。大都市の河川は文化文明と密接に関連し、都市の中としては生物多様性も維持しており、かつての荒廃から改善してきたというエコ的成功の歴史がある。主に社会科、理科の学習の場として、これほど多くを学べる場は少ない。カヌーを楽しみながら調査を行なう道具として用い、楽しみながら色々な自然や施設を調査し、気付きや興味関心に導くプログラムを推進したいと考えている。川の安全についての指導も不可欠であり、川チカラある子どもたちに溢れた地域づくりにも取り組みたい。流域の自治体が「水辺の楽校（がっこう）」を立ち上げ、自然愛好家たちのネットワークが形成されてきていることは、注目すべき点だ。多くの市民団体、ボランティア組織が、子どもたちのために何かをしたいと考えているが、総じて牽引力不足の課題にぶつかっている。やる気と能力のある方たちを、強力に子どもたちと結びつける牽引役として、NPOが果たす役割は小さくないはずと考えている。

来年度、多摩市の小学校の授業にも参画する機会を得た。近い将来、多摩市カヌークラブと連携した、子どもたちのための事業を催せたら・・・と願っている。



エディ便りその3：カヌーライフを寄贈いただきました！

吉田さんより、バックナンバーを御寄贈頂きました。5月以降、西永山複合施設のプールに置いておきます。ぜひご活用下さい！

◆吉田さんからのコメント

過去のカヌーライフとその元のカヌージャーナル（同人誌の様）創刊号から途中までです。（その他カヌーに関する本）宜し

ければ、みなさんで見えて楽しんで頂ければと思っています。クラブに寄贈致したいと思っています。

なにぶん古い情報なので役に立つかは？ですが、こんなあんなのでみなさんで楽しんで頂ければ嬉しく思います。（吉田）



エディ便りその4：水難事故レポート：遠藤哲からの投稿文です

水難事故：大雨で増水した荒川で男性水死
長瀬キャンプ村／埼玉
2008年9月8日 13時2分配信 毎日新聞

7日午後0時20分ごろ、長瀬町岩田の荒川（幅約20メートル）のキャンプ場「長瀬キャンプ村」で、川遊びをしようと川の中を歩いていた川口市の会社員（25）が深みに足を取られ流された。119番通報を受けた消防隊員らが約45分後に下流約2キロ地点で発見。病院に搬送したが、死亡が確認された。

秩父署によると、この日午前10時半ごろから、友人約30人と遊びに来ていた。川岸に大きな岩があり、そこから川に飛び込めないか友人と見に行く途中だった。

秩父地方では6日昼～7日深夜に大雨が降り、川は増水し流れが速かったという。

この日のツアーは増水の影響も有り、いつもより長い長瀬キャンプ村までのツアーでした。キャンプ村に着くとちょうど消防車が1台入ってきましたが、ん、なんかあったのかな？程度に思いながらも、お客様をバスに誘導していました。その内にヘリも上空に姿を現し、にわかにあわただしい状況になってきました。

うちのリーダーが消防署員に話を聴きに行くと、15分前に男性と子供の2名が流されたとの事、すぐに協力を申し出て「お願いできますか？」の声を聞く前に弾かれるようにラフトポートへ駆け出していました。

川に出る前に、流されたのは男性1人で子供は無事という情報が入り、その時まだライジャケとヘルメットをはずしていなかった僕を含めた4人が捜索にあたる事となり、なんとか自力で中州や河原に辿り着いて救助を待っているだろう彼を助ける為にラフトを漕ぎ出しました。

その日の荒川は透明度が20cmもなく、もし沈んでしまっていたら見つけられないという思いと、いや沈んでない！という気持ちが交錯しながら、時間だけが過ぎていきました。

ヘリコプターは低空でホバリングをし、僕は午後のツアーの事を考え始めていました。15分位下った河原に消防隊員が1人でいたので状況を聞いてみると、ほとんど情報を持っていないらしく、新たに分かったのは赤い海パンを穿いていた事くらい。流されてから約30分、正直沈んでしまった可能性が高いだろうという事で、上陸できる玉淀湖のポイントまで流しながら漕ぐ事にした。

「あれ!? なんか赤っぽいのが浮いてるけどあれじゃねえ！赤いよ！」

「違うよ、岩でしょ！」という会話が交わされ一応近づいてみる事に。

うつぶせに浮いている男性と確認した時には、先輩ガイドのタッキーがラフトの上に引き上げていました。引き上げられた男性は完全に心肺停止状態、それでもタッキーは素早く心臓マッサージを始め、僕はホバリングをしているヘリにSOSのサインを出し、ヘリが降りれそうな河原までラフトを漕ぎ、タッキー、Mッチ、Fミンと交代でヘリから垂直降下で隊員が降りてきて、ヘリに上げるまで心臓マッサージを続けました。奇跡を信じて心臓マッサージをしても彼はピクリとも動きませんが、病院に搬送されればもしかしたら…という気持ちをどこかで持っていました。

亡くなったのを知ったのは午後のツアーを終えてから…判ってたけどね。僕らが、ゴール地点のキャンプ村に着いたのは捜索に出た10分前位、もっと早く捜索の依頼をされていればなんとかなったのかもしれないと思うけど… 発見してからももし俺1人だったら何にもできなかったと思う。みんなにホント感謝しながらもなんとなく今日も眠りが浅そうです。

この文章は、2008年に経験した水難事故をmixiの日記に書いたものです。残念ながら亡くなってしまった男性もライフジャケット等の装備をしていれば、きっと亡くなることは無かったと思います。2009年のシーズンも何人もの溺水者を助ける事になりました。川に携わるカヌークラブの皆さんもきちりとした装備、知識、そして経験を身につけて安全で楽しいカヌーライフをおくりましょう。

エディ便りその5：子育てレポート@青木妙さんからの投稿文です。

こんにちは。おじいちゃんおばあちゃんになっても、カヌーは一生続けたい青木家です。行事に参加できないことが多いけれど、これからもよろしくお願ひします。

息子は、やんちゃ盛りの1歳8ヶ月になりました。身長80cm、体重11kg、靴14cm。すくすく育っています。音楽がかかるとノリノリ♪ダンスを踊り、スーパーへ行けば、自分で買い物カゴを持ち手に届く商品は全てカゴに入れて、車に乗ればパパの運転席を乗っ取りハンドルを握り締め…。冷や汗の連続です。疲れるけれど、その何倍もの幸せを息子からもらって家族3人元気に暮らしています。

夫婦2人から親子3人となり、人々の優しさを実感することが多くなりました。バスや電車に乗れば席を譲ってもらい、

お店に入れば「大変ね」とドアを開けてもらい、道を歩いていると見ず知らずの方に「可愛いわね」「お利口さんね」「いくつなの？」とよく声をかけられます。お世辞でもなんでも「可愛い」の一言はすごく嬉しい、元気の源です。

出産する病院は2軒も断られ、保育園は待機児童となり、産院・保育園不足を目の当たりにしました。家族みんなの健康に感謝して、これからも毎日楽しく♪。

写真は息子の初スキー。那須高原に行ってきました。



編集後記

パドタマ60号（記念号ですね）いかがだったでしょうか？来るシーズンに向けて楽しみを膨らませて頂けたら幸いです。でも、安全第一で行きましょう！まもなく球春？ならぬ漕春到来、体のなまっている方はウォーミングアップをお忘れなく。また、その節は本パドタマ原稿をお願いする事もあると思いますが、よろしくお願ひします。



本年も皆さん一緒に川へ行きましょう！（昨年度のテーマ・・・）次回6月発行予定のパドタマでは楽しい話題満載で行きたいです。

冬の間、走ってきました。フルマラソン完走！（小篠）